

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guidance))		
ナンバリングコード	K30110	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K007151	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	授業に毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。なお、グループワークを円滑に進めるために、座席を指定します。授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をする等、「報・連・相」を身に付けてください。これは教員に限らず、社会人に求められる態度でもあります。これができる人とできない人とは、評価に差が付きまます。		
教科書	文部科学省『生徒指導提要(令和4年12月改定)』(ジヤース教育新社、2023年)		
参考文献及び指定図書	小泉令三編『よくわかる生徒指導・キャリア教育』(ミネルヴァ書房、2010年) その他、授業の際に紹介したり、資料を配付したりする。		
関連科目	教育相談、教育心理学、特別支援教育論、特別活動の指導法、その他教職課程科目		

○基本情報							
授業の目的	<p>生徒指導の基本的な進め方(生徒指導・進路指導の意義や方法、留意点等)について理解し、学校や教職員の果たす役割について説明することができるようになる。</p> <p>生徒指導・進路指導の進め方について、いじめや不登校など様々な課題に対するリアクティブな支援はもとより、全ての児童生徒の発達を支える日常的・先行的なプロアクティブな支援のあり方を具体的に説明することができるようになる。</p>						
授業の概要	<p>学校現場で問題となっている生徒指導・進路指導(キャリア教育)上の課題について理解し、生徒指導・進路指導に関する専門的知識と実践的指導力を身につけることができるように、それぞれの意義や原理とともに具体的事例を提示し、検討していく。</p> <p>また、生徒指導・進路指導(キャリア教育)が教育活動全体を通じて行われる機能、領域であることを踏まえ、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に取り組んでいくために必要な知識や素養を身につけてもらう。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「グループワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	<p>斉藤雄次 9年間高等学校の教員として働くうちの7年間、生徒指導部に所属し、生徒にまつわる様々な問題への対応や、生徒会担当教員として生徒への助言等を行ってきた。本科目では、教員としての経験の中で感じた問題意識をもとに、生徒指導のあり方をめぐる様々な話題および知見を学生に提供する。</p>						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題に関心を持ち、生徒指導や進路指導の各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。		10点	5点
【知識・理解】	生徒指導・進路指導の意義や進め方、必要な基礎的知識を理解し、児童生徒の望ましい成長・発達を援助する具体的支援法を理解している。	30点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	生徒指導や進路指導に関する自身の考えをまとめ、グループ活動等で表現することができる。事前の課題等において適切な文章を作成し、自身の見解を表現することができる。		10点	5点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的等さまざまな観点から考察することができる。	30点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>毎回講義の冒頭で、前時の学修内容に関する小テストを課す。そのための学修を事後課題とし、小テストの結果を理解の程度に応じて評価に加味する。また、毎回の講義に向けた事前課題も課し、適切な文章表現力や関心・意欲・態度等を評価する。</p> <p>小テストは次回以降の授業で返却する。また中間成績表の配布や期末試験結果の返却など、自身の到達度を示す形でのフィードバックも適宜行う。</p>	

○その他	
<p>本講義の成績評価と、それに対応する資質・能力との対応は以下の通りである。</p> <p>Sレベル: 授業で扱う生徒指導・進路指導の知識を十分に理解し、そのあり方について意欲的に追究することができる。</p> <p>Aレベル: 授業で扱う生徒指導・進路指導の知識を概ね理解し、そのあり方について追究することができる。</p> <p>Bレベル: 授業で扱う生徒指導・進路指導の知識をある程度理解し、そのあり方について追究しようとしている。</p> <p>Cレベル: 授業で扱う生徒指導・進路指導の知識を最低限理解し、そのあり方について追究しようとしている。</p> <p>本講義で確認する生徒指導・進路指導という内容は、生徒に対する適切な関わり方について理解し、あるいはそれを模索する方法について考えるものでもあり、その点において、次年度に予定されている実習校における教育実習にもつながる。ゆえに、しっかりと理解できるように、各自の努力、すなわち学び続ける姿勢を持ち、実行することを求めたい。この姿勢を持たない者、持とうとしない者は、本科目の単位の修得は困難となろう。</p> <p>なお、教員を目指す人を支援するために、小テストや期末試験では教員採用試験レベルの問題も出題する。各自、そのつもりで履修し、学習を深めていただきたい。</p> <p>また、そうした特徴のために、毎回の出席を当たり前にしていただきたい。出席して講義の内容を理解することが、小テストおよび期末試験の出来に直結すると考え、能動的に学修に取り組むことのできる学生、あるいは出席して、よりよい生徒への対応のあり方をしっかりと考え、知識を自分のものにしていこうとする学生こそが、教育実習に行き、あるいはその後の学校現場において、生徒の側に寄り添った生徒指導や進路指導をできるのだと、講義担当者は考える。</p>	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guidance) 授業コード	K007151
学修内容			
<b>1. 生徒指導とは何か～生徒指導の定義、構造～</b> ○本授業科目のシラバスを十分に理解する。 ○自身がこれまで受けてきた生徒指導を振り返るとともに、生徒指導の意義と原理を理解する。 ○生徒指導の定義や構造を理解する。			
予習	「生徒指導提要」第1章(1.2)を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>2. 生徒指導の方法と留意点</b> ○児童生徒理解、集団指導と個別指導等について理解する。 ○ガイダンスとカウンセリング、チーム支援について理解する。 ○生徒指導の取組上の留意点を理解する。			
予習	「生徒指導提要」第1章(3.4.5)を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>3. 生徒指導と教育課程</b> ○「総則」における生徒指導について理解する。 ○各教科等と生徒指導の関係を理解する。 ○各教科等における生徒指導の推進のあり方を理解する。			
予習	「生徒指導提要」第2章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>4. チーム学校における生徒指導体制</b> ○チーム学校について理解する。 ○生徒指導体制、教育相談体制について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第3章(1.2.3.4)を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>5. 学校危機、生徒指導に関する法制度</b> ○学校危機とその介入について理解する。 ○生徒指導に関する法制度等について理解する。 ○関係機関との連携・協働について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第3章(5.6.7)を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>6. いじめの現状と課題、対応</b> ○いじめの定義、いじめ防止対策推進法について理解する。 ○いじめ問題への対応を理解する。			
予習	「生徒指導提要」第4章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>7. 暴力行為、少年非行の現状と課題、対応</b> ○暴力行為の現状と課題、対応について理解する。 ○少年非行の現状と課題、対応について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第5章、第6章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>8. 児童虐待の現状と課題、対応</b> ○児童虐待の現状等を踏まえ、児童虐待防止法等の法制度について理解する。 ○児童虐待における学校の対応について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第7章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guidance) 授業コード	K007151
学修内容			
<b>9. 自殺予防と命の教育</b> ○自殺の現状と自殺対策基本法等について理解する。 ○自殺予防のための学校の対応や取組について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第8章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>10. 中途退学、不登校の課題と対応</b> ○中途退学の現状と対応について理解する。 ○不登校の現状と対応について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第9章、第10章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>11. インターネット・携帯電話、性に関する課題</b> ○インターネット・携帯電話に関わる問題と対応について理解する。 ○性に関する課題や学校における対応について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第11章、第12章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>12. 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導</b> ○発達障害に関する理解と対応について理解する。 ○精神疾患に関する理解と対応について理解する。 ○健康課題に関する理解と対応について理解する。 ○支援を要する家庭状況について理解する。			
予習	「生徒指導提要」第13章を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>13. 進路指導・キャリア教育の意義と理論</b> ○キャリア教育の意義と理論を理解する。 ○進路指導とキャリア教育の違いを理解する。 ○キャリア教育の進め方について理解する。			
予習	配付資料pp.168-175を読んでおく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>14. キャリア教育の方法と技術、職業観・勤労観の形成</b> ○キャリア教育の方法と技術について理解する。 ○働くことと職業の関係について考察する。 ○職業観・勤労観を育てる授業を考察する。			
予習	配付資料pp.176-183を復習するとともに、授業を構想しておく。		(約2.0h)
復習	再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。		(約2.0h)
<b>15. 進路指導の進め方及び本学修のまとめ</b> ○キャリア・カウンセリング及び進路指導のアセスメントツールを体験し、その意義について理解する。 ○これまでの学修を振り返る。			
予習	配付資料pp.184-187を読んでおくとともに、これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。		(約2.0h)
復習	これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。		(約2.0h)
<b>16. 期末試験</b> これまでの授業内容について、総合的な試験を実施します。 試験の概要については、事前に連絡します。			
予習			
復習			